

令和4年度 第68回全国肢体不自由教育研究協議会 兵庫大会について

大会実行委員長 小寺英樹

(尼崎市立あまよう特別支援学校長)

今年度、全国特別支援学校肢体不自由教育校長会主催の第68回全国肢体不自由教育研究協議会を兵庫県で開催しました。本大会は、昭和32(1957)年から全国各地を会場に開催してきた歴史と伝統のある研究協議会です。

令和2,3年度は、新型コロナウイルスの影響で動画配信のみの開催でしたが、兵庫大会は、令和4年11月17日、姫路市「アクリエひめじ」で、人数を制限した会場開催と、後日その様子と分科会・ポスター発表を動画で配信する、ハイブリッドでの開催としました。会場には、ご来賓、全国特別支援学校肢体不自由教育校長会の役員、近畿地区肢体不自由特別支援学校長の56名が、動画配信には186校の参加がありました。

開会行事では文部科学省初等中等教育局視学官（併）特別支援教育課特別支援教育調査官の菅野和彦氏、兵庫県教育長、藤原俊平様には動画にて、姫路市教育長、西田耕太郎様の3名のご来賓の方々にご祝辞をいただきました。

大会テーマを「肢体不自由教育の充実をとoshた共生社会形成の推進 ～個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指して～」とし、文部科学省初等中等教育局視学官 菅野和彦様から「肢体不自由教育に期待すること」との演題でご講話を、兵庫教育大学名誉教授 富永良喜様から「肢体不自由教育の今後～高等部卒業後の豊かな生活をめざして～」との演題でご講演いただき、特別支援教育の専門性向上につながる多くのご示唆やご助言をいただきました。

また、分科会20本・ポスター89本の発表があり、最新の情報や特色ある取組み等幅広い内容で、コロナ禍ではありますが、子供たちへのより良い指導・支援のために、そして指導力向上のために、全国の先生方の学び続ける熱い姿勢を感じ、大変心強く思いました。

動画配信は、年末年始を含む20日間を設定し、全国の肢体不自由特別支援学校の多くの先生方にWeb上で視聴していただき、今後の指導に役立てることができる大会となりました。

この大会を通して、肢体不自由教育がますます発展し、子供たちの成長発達を支え、子供たちの未来が輝く共生社会の実現に向けて、大きな原動力となることを願っています。

本大会が盛会に終わることができましたのも、ご支援を賜りました一般財団法人兵庫県肢体不自由児者協会様をはじめ、関係機関の皆様のおかげです。多大なるご支援を賜り、心より御礼申し上げます。